

ひょうご 参院選 2016

夏の参院選の前哨戦として注目を集めた衆院北海道5区と京都3区の補欠選挙。開票日の24日、神戸市中央区のホテルは千人を超える人の熱気に包まれた。

おおさか維新の会「キーンワード」の地方組織「兵庫維新の会」の決起大会。党共同代表の片山虎之助や大阪府知事で党代表の松井一郎が壇上に立ち、参院選兵庫選挙区から立候補予定の片山の次男大介(49)を激励した。

だが、会場を埋めた聴衆のお目当ては、第2部として開かれた同党法律政策顧問の前大阪市長橋下徹の講演会。支援者だけでなく、橋下の言動を注視する真内の政党関係者も顔を出した。報道陣非公開。「政治無関心は納税者がこれだけ損をする」と題し、大阪の「改

ダブル選の足音

革」を紹介する内容だったが、当初の予定を一時と断った京都3区補選間近でオバーしても席は、民進前職が、他の新人を立つ参加者は少なかつた。立つ参加者は少なかつた。立つ参加者は少なかつた。

昨年12月に政界を引退したおおさか維新の初陣選したというものの、選挙だった。理想をはるかに超える大敗に、党内講演会など精神的側面からは、参院選への弾み

おおさか維新の脅威

面支援を続ける橋下。どこか不安が広がった政界復帰への待望論は、ただ「候補者擁立の選おくすぶるが見通しは、選挙区を絞った方がいい」。講演後、参院議員の意見が相次いだ。清水貴之(兵庫選挙区)は「われわれは期待している。あれほど話せる人が弱まった」という見方は、会場にも同じ。一方、「兵庫では、あなごれない存在」と警

力ぬえか党野か 与党か

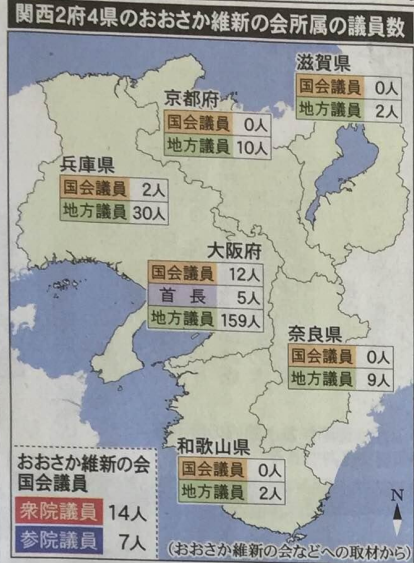
地方切り捨ての懸念も

「一票の格差」是正に向けた選挙制度改革が大詰めを迎えている。今夏の参院選をめくっては既に、有権者の少ない隣接選挙区(徳島と高知県、鳥取と島根県)を統合する「合区」導入などが決定。衆院でも格差を2倍未満に抑えるため、定数削減と新たな議席配分方法を盛り込んだ与党法案が今国会で成立する見通しとなった。

新たな議席配分方法

衆院の新たな議席配分(商)の小点数以下分方法は「アダムス方式」を切り上げた定数を定数式」と呼ばれ、米国のとするもので、仮に、第6代大統領アダムスある県の人口をXで割るが提唱したとされる。つた答が2・1なら、衆院に設置された有識者調査会が1月、人口商を基にした定数の合比をより反映できる方計と、小選挙区の総定法として導入を答申で数が一致するように調整

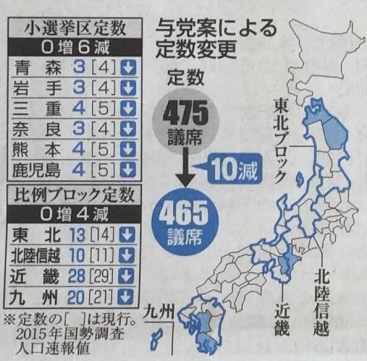
都道府県の人口を一定の数で割り、その答、選挙区より有権者人口



(右写真)決起大会で並んで立つ片山大介氏(右)とおおさか維新の会代表の松井一郎・大阪府知事。(左写真)橋下徹氏の影響力は今も健在なのか

得し議席を奪取。勢いは参院選で憲法改正の阻止ならず、昨春の統一地方選挙でも神戸、阪神間を中心に真議、市議選で躍進した。昨秋、旧維新の党と袂を分かつたが、おおさか維新の兵庫の地方議員は30人を数え、東からシリシリと浸透を図る。参院選では、兵庫県の小選挙区では、神戸・阪神間をはじめ「一つでも多く立てる」(清水)と野党とは言えない。民進党代表岡田克也が批判するうちに、その立ち位置は他の野党と一線を画す。3月下旬に大阪市内であった党大会では、道州制導入など統治機構改革を盛り込んだ憲法改正案を「キーンワード」を承認。終了後、松井は「夏

参院選 キーンワード
①おおさか維新の会 2010年4月、当時、大阪府知事だった橋下徹氏が政治団体「大阪維新の会」を発足。12月9日には、大阪都構想を掲げ、日本維新の会を設立し、国政進出を果たした。同日、石原慎太郎氏率いる太陽の党と合流。14年8月、石原氏もまたを分ち、翌9月、結いの党と維新の会を統合した。15年8月に橋下、松井一郎両氏が離党。同年10月、「おおさか維新の会」が旗揚げされた。
②おおさか維新の憲法改正案 幼児から大学までの教育無償化、道州制導入などの統治機構改革、憲法解釈の権限を持つ憲法裁判所を最高裁とは別に創設を柱とする。安倍晋三首相が意欲を示す。戦力不保持を定めた憲法9条2項の改正や緊急事態条項の新設に言及していない。統治機構改革に連動し、道州には法律に優先する条例の制定権を付与することや、自治体が地方税の課税自主権を有することなども盛り込んだ。



日付	内容
2016年5月?	小選挙区「0増6減」や20年国勢調査に基づくアダムス方式導入を柱とした与党の憲法改正案成立
6月	1日に通常国会会期末
夏ごろ	衆院選挙区画定審議会(区割り審)が区割り改定作業開始
7月10日?	参院選投開票(衆参同日選?)
9~10月ごろ	15年国勢調査の確定値公表
17年?	区割り審が首相に改定案を勧告。0増6減に伴う区割り見直しを定める関連法成立
18年12月	衆院議員任期満了
20年	大規模国勢調査
21年?	20年国勢調査結果を公表。アダムス方式を用いた定数配分と区割りを見直し
22年?	アダムス方式に基づいた新たな区割りで衆院選が可能に

減する。小選挙区での区割りの見直しは来年以降の衆院選を3回人別方式を当面維持連続で「遺棄状態」とすることになり、再び判断。各都道府県に厳しい司法判断が下る。一方、民進党は10年国勢調査に基づき、現行の「1人別方式」を維持し、小選挙区を「7増」選出の現職議員が多数部への人口流出に閉じ込めがからない中で、ムス方式の即時導入格差を是正するだけで影響が大きく、調整は「地方の切り捨て」がある。与党案では1ある。(黒田勝俊)